

## 第2期計画の推進と進行管理（案）

## 第5章 第2期計画の推進と進行管理

計画を効率的・効果的に推進していくためには、計画策定後において、毎年度、PDC Aサイクルの手法により適切な進行管理を行い、評価結果に基づき継続的に改善・見直しを図っていくことが重要です。

本計画は、子ども・子育て支援施策を総合的に推進していくものであり、取り組みを進める関係部署が広範囲に及ぶことから、庁内連携による評価体制が不可欠です。このため、計画の進行管理にあたっては、各担当部署により、関係する目標事業量の推移や取り組み（事務事業）の実績の進捗等を把握したうえで、関係部で構成する庁内の評価会議（枚方市子ども・子育て支援事業計画推進委員会）において庁内横断的に審議し、施策単位の総合的な評価を行います。

そのうえで、児童福祉等に関する有識者や市民、関係機関などで構成する外部の評価会議（枚方市社会福祉審議会 子ども・子育て専門分科会）で審議・評価をいただき、改めて庁内で評価内容を共有化し、次年度の取り組みの改善や見直しにつなげていきます。

また、市民ニーズの変化や国の動向など社会状況の変化に柔軟に対応するため、毎年度の進行管理を行っていくなかで、必要に応じて、計画の見直しを行います。

### 【庁内の評価会議】

#### 枚方市子ども・子育て支援事業計画推進委員会（事務局：子ども青少年部）

母子保健、幼児教育・保育、家庭児童相談、学校教育、社会教育、市の政策調整に関する部署などで構成

本計画の内容は、母子保健や幼児教育・保育、家庭児童相談、学校教育など庁内のさまざまな部署にまたがり相互に関連することから、上記の庁内の評価会議を活用し、横断的な視点を持ちながら審議・評価を進めます。

### 【外部の評価会議】

#### 枚方市社会福祉審議会 子ども・子育て専門分科会（事務局：子ども青少年部）

児童福祉等に関する有識者、市民、民生委員児童委員、PTA協議会役員、私立保育園・幼稚園代表者、医師などで構成

計画を適切な進行管理のもと推進していくためには、実効性や透明性を確保するため、行政外部からの意見をいただくことが不可欠です。上記の外部の評価会議を活用し、子ども・子育て支援に関わるさまざまな専門的見地から審議・評価をいただきます。

【第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画の進行管理のイメージ図】

